

シー・ズー

	改正	現行
■原産地	チベット <u>(中国)</u>	チベット
■沿革	<u>ラサ・アプソとシー・ズーを混同してしまう人々がいるが、この二つの犬種間には数々の顕著な違いがある。この犬種のルーツはチベットであるが、発達したのは、このような犬が皇宮に住んでいた中国である。中国は1912年に共和国となり、これらの犬種は西洋に向かったが、イギリスへの最初の輸入記録は1931年までなかった。1934年に他の東洋犬種とは別の犬種として認識され、1940年には英国KCで別犬種として登録されるようになり、1949年からはチャレンジ・サーティフィケート（CC）を付与することも認められた。シー・ズーの最大の魅力は鼻梁から上向きに生えている毛によって菊の花のように見える頭部である。</u>	<u>1934年ラサ・アプソから分離独立した犬種である。アメリカン・ケネル・クラブの第一号は1969年に登録されているが日本には昭和30年代の末に紹介された。中国の王宮で数百年にわたり飼育されていたペキニーズとラサ・アプソの混血によって誕生したといわれている。神の使者として神聖視され、獅子狗（シー・ズー・クウ）と呼ばれていた。</u>
■一般外貌	<u>がっしりしており、</u>	<u>健全で、</u>
■重要な比率	<u>キ甲から尾付きまでの長さは体高よりも長い。</u>	<u>キ甲部から尾の付け根までの長さの方が、体高よりも長い。</u> (■ボディより移動)
■頭部	<u>乱髪で、豊富な顎ひげとウイスキーを持つ。マズルの上向きに伸びる被毛は明瞭な「菊の花のような」印象を与えるが、視力に影響は与えない。</u>	<u>被毛は目の上に覆いかぶさるような乱髪である。顎ひげとウイスキーがあり、鼻の上の被毛は上向きに生えており、これがキクの花のような顔を作り出している。</u>
■鼻	<u>ブラックだが、毛色がレバーやレバー・マーキングのある犬においてはダーク・レバーである。鼻の上は下眼瞼と同じライン上、もしくはそれより若干下にある。鼻は平らか僅かに上向きである。鼻孔は大きく開いている。下向きの鼻は鼻孔が狭くなるので、</u>	<u>ブラックだが、レバー色やレバー・マーキングのある犬においてはダーク・レバーでも良い。鼻の上は下眼瞼と同じライン上、もしくはそれより下にある。下向きの鼻はきわめて好ましくない。鼻孔は大きく開いている。つままれたような鼻孔はきわめて</u>

	きわめて好ましくない。	<u>好ましくない。</u>
<u>マズル</u>	鼻の先端からストップまでの長さは約 2.5 cm である。マズルの色素は途切れていないほど好ましい。	長さは鼻の先端からストップまで、おおよそ 2.5cm である。 <u>鼻梁は平ら、もしくは僅かに傾いている。</u> マズルの色素は途切れていないほど好ましい。
<u>且</u>	<u>毛色が</u> レバーやレバー・マーキングの犬においては、	レバー色やレバー・マーキングの犬においては、
□胸	幅広く、深く、 <u>十分下りている。</u>	幅広く、深い。
■尾	<u>陽気に背上に掲げている。</u>	<u>陽気に背にかかっている。</u>
	尾の高さはスカルの高さと同じ位置なので、	尾の高さはスカルの高さと同じ位置なので、
■四肢	<u>前足</u> 丸く、 <u>堅固で、十分な被毛で覆われている。</u>	<u>□足</u> 丸く、 <u>頑丈で、パッドには弾力があり、被毛が豊富なため大きく見える。</u>
	<u>後足</u> 丸く、 <u>堅固で、パッドには弾力があり、十分な被毛で覆われている。</u>	
□毛	<u>上毛は長く、密であるが、カーリーではない。下毛は適度にあり、ウーリーではない。僅かなウェーブは許容される。毛は犬の視力に影響を与えず、被毛の長さは歩様を制限すべきではない。頭部の毛は装飾無しで縛ることが強く推奨される。</u>	長く、密であるが、カーリーではない。アンダーコートも豊富である。 <u>僅かなウェーブは許容される。頭部の被毛は上で結ばれていることがたいへん好ましい。</u>
□体高	<u>27cm</u> を超えてはならない。	<u>26.7cm</u> を超えてはならない。
□体重	4.5 kg ～ <u>8</u> kg。理想体重は 4.5 kg ～ <u>7.5</u> kg。	4.5kg～ <u>8.1</u> kg である。理想体重は 4.5kg ～ <u>7.3</u> kg である。